

認定書

国住指第376号
令和3年6月23日

ケイミュー株式会社
代表取締役 社長 木村 均 様
吉野石膏株式会社
代表取締役 須藤 永作 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第八号並びに同法施行令第108条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各30分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PC030BE-3590-2(1)

2. 認定をした構造方法等の名称

イソシアヌレートフォーム裏張鋼板・フェノールフォーム板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

イソシアヌレートフォーム裏張鋼板・フェノールフォーム板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

2. 寸法および形状等

(寸法単位 : mm)

項目	仕様
壁 高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁 厚	187.5以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位 : mm)

項目	仕様
[1]荷重支持部材	<p>柱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS (2)平成13年建設省告示第1024号に規定する構造用集成材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS (3)平成13年建設省告示第1024号に規定する単板積層材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS (4)平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材 ・断面寸法 105×105の断面寸法以上 ・密度 $0.38 \pm 0.08 \text{g/cm}^3$以上
[2]間柱	<p>木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面寸法 27×105の断面寸法以上 ・間隔 500以下
[3]胴縁	<p>木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面寸法 一般部 15×40の断面寸法以上 目地部 15×40の断面寸法以上を2列または15×80の断面寸法以上 ・間隔 500以下
[4]受け材	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)なし (2)木 <ul style="list-style-type: none"> ・種類 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)製材 2)集成材 3)単板積層材 ・断面寸法 25×25の断面寸法以上 ・取付位置 構造用面材または内装材横目地位置

(寸法単位：mm)

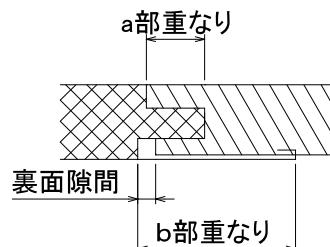
項目	仕様
[5]外装材	<p>イソシアヌレートフォーム裏張鋼板</p> <p>[1]構成</p> <p>[1]-1 表面材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 (1)～(18)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697) (2)溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3302 (3)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 (4)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3317 (5)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3318 (6)溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3321 (7)塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 (8)ポリ塩化ビニル被覆金属板(鋼板に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744、 (9)一般構造用圧延鋼材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3101 (10)冷間圧延鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3141 (11)熱間圧延軟鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3131 (12)電気亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3313 (13)建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> (国土交通大臣指定建築材質：MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0965) (14)溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3323 (15)ポリエステル被膜溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～11)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697) 2)溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3302 3)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3317 4)溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3321 5)ポリ塩化ビニル被覆金属板(鋼板に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744 6)一般構造用圧延鋼材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3101 7)冷間圧延鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3141 8)熱間圧延軟鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3131

(寸法単位: mm)

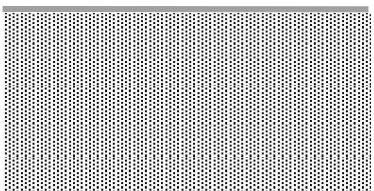
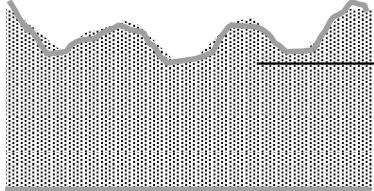
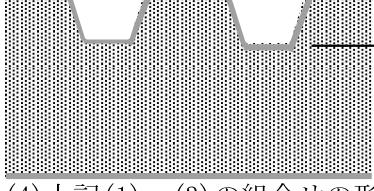
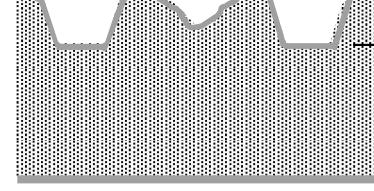
項目	仕様												
[5]外装材 (つづき)	<p>9) 電気亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3313</p> <p>10) 建築構造用溶融亜鉛ーアルミニウムーマグネシウム合金めっき鋼板(国土交通大臣指定建築材質: MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0965)</p> <p>11) 溶融亜鉛ーアルミニウムーマグネシウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3323</p> <p>(16) 冷間圧延ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 4305</p> <p>(17) 熱間圧延ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 4304</p> <p>(18) 塗装ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 3320</p> <p>・(16)～(18)の鋼種: SUS430、SUS445J1、SUS445J2、SUS447J1 ・厚さ 0.27以上</p> <p>[1]-2芯材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 イソシアヌレートフォーム ・組成(質量%) <table border="0"> <tr> <td>ホリイソシアネート</td> <td>66_±7</td> </tr> <tr> <td>ホリエーテル系ホリオール</td> <td>3_±3</td> </tr> <tr> <td>ホリエスチル系ホリオール</td> <td>23_±4</td> </tr> <tr> <td>難燃剤(りん系)</td> <td>5_±2</td> </tr> <tr> <td>三量化触媒、整泡剤</td> <td>3_±3</td> </tr> <tr> <td>発泡剤(HFC系、HFO系)</td> <td>5_±3～11_±3(外割)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・イソシアネート指数 279 ・密度 37.5_±4kg/m³ <p>[1]-3裏面材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 (1)～(9)のうち、いずれか一仕様とする (1) アルミニウム合金はく <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS H 4160 (2) はり合わせアルミニウムはく <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS Z 1520 (3) ラミネート加工紙 (4) アルミラミネート加工紙 (5) 塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 (6) 溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3321 (7) 塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 (8) 溶融亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3302 (9) 塗装溶融ーアルミニウムーマグネシウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3323 ・厚さ (1) 0.02_±0.002以上 (2)～(4) 0.2_±0.1 (5)～(9) 0.15以上 	ホリイソシアネート	66 _± 7	ホリエーテル系ホリオール	3 _± 3	ホリエスチル系ホリオール	23 _± 4	難燃剤(りん系)	5 _± 2	三量化触媒、整泡剤	3 _± 3	発泡剤(HFC系、HFO系)	5 _± 3～11 _± 3(外割)
ホリイソシアネート	66 _± 7												
ホリエーテル系ホリオール	3 _± 3												
ホリエスチル系ホリオール	23 _± 4												
難燃剤(りん系)	5 _± 2												
三量化触媒、整泡剤	3 _± 3												
発泡剤(HFC系、HFO系)	5 _± 3～11 _± 3(外割)												

(寸法単位 : mm)

項目	仕様
[5]外装材 (つづき)	<p>[1]-4水密材 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)あり ・材質 1)~7)のうち、いずれか一仕様とする 1)合成ゴム系 2)軟質塩化ビニル系 3)ポリウレタン系 4)アクリルウレタン系 5)ポリサルファイド系 6)変成シリコーン系 7)ポリエチレン系 ・使用量 4.6g/m以下(有機質量)</p> <p>[2]表裏面塗装 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)あり ・種類 1)~9)のうち、いずれか一仕様とする 1)フッ素系樹脂 2)アクリル系樹脂 3)アクリルウレタン系樹脂 4)ウレタン系樹脂 5)アクリルシリコン系樹脂 6)無機質系 7)エポキシ系樹脂 8)ポリエステル系樹脂 9)上記1)~8)の組合せ ・塗布量 77g/m²以下(表裏面合計有機質量)</p> <p>[3]形状 [3]-1断面形状 ・厚さ $16_{-1.6}^{+1.6}$~$25_{-2.5}^{+2.5}$(最低厚さ$11_{-1.1}^{+1.1}$以上) ・働き幅 400_{-40}^{+40} ・長さ 1000以下 ・断面欠損率 $11.8_{-1.18}^{+1.18}\%$以下 ※ ※裏面から16以下の部分の溝深さによる 欠損率とする ・裏面隙間 $4.6_{-0.46}^{+0.46}$以下 ・a部重なり $10.4_{-1.04}^{+1.04}$以上 ・b部重なり $29.5_{-2.95}^{+2.95}$以上</p>



(寸法単位 : mm)

項目	仕様
[5]外装材 (つづき)	<p>[3]-2表面形状 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)平滑 (2)エンボス (3)溝付き (4)上記(1)～(3)の組合せ</p> <p>(1)平滑の形状例</p>  <p>16_{±1.6}～25_{±2.5}</p> <p>(2)エンボスの形状例</p>  <p>11_{±1.1}以上</p> <p>16_{±1.6}～25_{±2.5}</p> <p>(3)溝付きの形状例</p>  <p>11_{±1.1}以上</p> <p>16_{±1.6}～25_{±2.5}</p> <p>(4)上記(1)～(3)の組合せの形状例</p>  <p>11_{±1.1}以上</p> <p>16_{±1.6}～25_{±2.5}</p> <p>[4]張り方 縦張</p>

(寸法単位：mm)

項目	仕様
[6]構造用面材	<p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)木質系ボード 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする 1)普通合板 ・規格 JAS ・厚さ 9以上 2)構造用合板 ・規格 JAS ・厚さ 9以上 3)構造用パネル ・規格 JAS ・厚さ 9以上 4)パーテイクルボード ・規格 JIS A 5908 ・厚さ 9以上 5)ミディアムデンシティファイバーボード ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 9以上 ・密度 0.7g/cm³以上 6)シージングボード ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 12以上 ・密度 0.33～0.42g/cm³</p> <p>(2)セメント板 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)硬質木片セメント板 ・規格 JIS A 5404 ・厚さ 12以上 2)硬質木毛セメント板 ・規格 JIS A 5404 ・厚さ 12以上 3)フレキシブル板 ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 9以上 4)パルプセメント板 ・規格 JIS A 5414 ・厚さ 9以上 5)けい酸カルシウム板 ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 9以上 6)両面アクリル系樹脂塗装/パルプ・けい酸質混入セメント板 (国土交通大臣認定：QM-0457) ・厚さ 9以上 7)スラグせっこう板 ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 9以上</p> <p>(3)火山性ガラス質複層板 ・規格 JIS A 5440 ・厚さ 9以上</p>

(寸法単位：mm)

項目	仕様
[6]構造用面材 (つづき)	<p>(4)せっこうボード</p> <p>1)～4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 9.5以上 <p>2)強化せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 <p>3)両面ボード用原紙張／せっこう板 (国土交通大臣認定：NM-4127)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 9.5以上 <p>4)ボード用原紙張／ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通大臣認定：QM-0954-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 9.5以上
[7]外張断熱材	<p>フェノールフォーム板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)JIS A 9511 2)JIS A 9521 ・厚さ $30 \pm 3.0 \sim 100 \pm 10.0$ ・密度 $27 \pm 2.7 \sim 50 \pm 5.0 \text{kg/m}^3$
[8]内装材	<p>せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <p>(1)せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 <p>(2)強化せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 <ul style="list-style-type: none"> ・端部形状 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <p>1)スクエア</p> <p>2)ベベル</p> <p>3)テーパ</p>

2)副構成材料

(寸法単位：mm)

項目	仕様
①防湿紙	<p>(1)～(13)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)アスファルトフェルト ・規格 JIS A 6005</p> <p>(3)透湿防水シート ・材質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)ポリエチレン系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂</p> <p>(4)プラスチックシート ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする 1)飽和ポリエステル系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 4)ポリ塩化ビニル系樹脂 5)ABS系樹脂 6)ポリエチレン系樹脂 7)ポリスチレン系樹脂</p> <p>(5)防水通気シート ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする 1)飽和ポリエステル系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 4)ポリ塩化ビニル系樹脂 5)ABS系樹脂 6)ポリエチレン系樹脂 7)ポリスチレン系樹脂</p> <p>(6)オレフィン系シート</p> <p>(7)住宅用プラスチック系防湿フィルム ・規格 JIS A 6930</p> <p>(8)包装用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS Z 1702</p> <p>(9)農業用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS K 6781</p> <p>(10)上記(2)～(9)に高分子吸収体(吸水ポリマー、メチルセルロース)を組合せたもの</p> <p>(11)上記(2)～(10)の組合せ</p> <p>(12)上記(2)～(11)にアルミ蒸着したもの</p> <p>(13)上記(2)～(11)にアルミ箔を貼合せたもの</p> <p>・単位面積質量 860g/m²以下</p>
②防水紙	<p>①防湿紙の(1)～(13)うち、いずれか一仕様とする</p> <p>・単位面積質量 860g/m²以下</p>

(寸法単位：mm)

項目	仕様
③シーリング材	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～12)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)変成シリコーン系 2)シリコーン系 3)アクリル系 4)アクリルウレタン系 5)ポリウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成ポリサルファイド系 8)エポキシ系 9)ブチルゴム系 10)スチレンブタジエンゴム系 11)油性コーティング材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5751 12)シリコーン系マスチック ・使用量 1g/m以上
④バックアップ材	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～8)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ポリプロピレン系 2)合成ゴム系 3)軟質塩化ビニル系 4)ポリウレタン系 5)アクリルウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成シリコーン系 8)ポリエチレン系 ・使用量 0.3～100g/m

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑤役物	<p>[1] 中間水切り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) 塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 2) 塗装／亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697) 3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 4) 塗装溶融亜鉛ー5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3318 5) ポリ塩化ビニル被覆金属板(鋼板に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744 6) ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 ・厚さ 0.35以上 ・表裏面塗装 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) なし 2) フッ素系樹脂 3) アクリル系樹脂 4) アクリルウレタン系樹脂 5) ウレタン系樹脂 6) アクリルシリコン系樹脂 7) 無機質系 8) エポキシ系樹脂 9) ポリエステル系樹脂 10) 上記2)～9)の組合せ ・塗布量 77g/m²以下(表裏面合計有機質量) <p>[2] 端面カバー</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)、(2)のいずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1) なし (2) あり ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) 塗装溶融55%アルミニウムー亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 2) 塗装／亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697) 3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 4) 塗装溶融亜鉛ー5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3318 5) ポリ塩化ビニル被覆金属板(鋼板に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744 6) ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 7) アルミニウム合金押出形材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS H 4100 ・厚さ 1)～6)0.35以上 <ul style="list-style-type: none"> 7) 1以上 ・水抜き孔 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) なし 2) あり

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑤役物 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ・表裏面塗装 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)なし 2)フッ素系樹脂 3)アクリル系樹脂 4)アクリルウレタン系樹脂 5)ウレタン系樹脂 6)アクリルシリコン系樹脂 7)無機質系 8)エポキシ系樹脂 9)ポリエステル系樹脂 10)上記2)～9)の組合せ ・塗布量 77g/m²以下(表裏面合計有機質量)
⑥留付け材	<p>[1]-1外装材固定用</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)くぎ <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 ϕ 2.1以上×L25以上 ・間隔 外装材の幅による(水平方向) 500以下(垂直方向) (2)ねじ <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 ϕ 2.1以上×L25以上 ・間隔 外装材の幅による(水平方向) 500以下(垂直方向) <p>[1]-2外装材補強固定用</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1)なし (2)ねじ <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 ϕ 3.5以上×L25以上 ・間隔 440以下(水平方向) 2000以下(垂直方向) (3)くぎ <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 ϕ 1.6以上×L19以上 ・間隔 440以下(水平方向) 2000以下(垂直方向)

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[2] 脊縁固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 3.4$以上×L75以上 ・間隔 500以下 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 3.4$以上×L75以上 ・間隔 500以下 <p>[3]構造用面材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 ・間隔 500以下 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 ・間隔 500以下 <p>[4]役物固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 3000以下 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1) ステンレス 2) 鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 3000以下

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[5]内装材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 200以下(周辺部) 200以下(中央部) <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L25以上 ・間隔 200以下(周辺部) 200以下(中央部) <p>[6]防湿紙留付け用</p> <p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 幅10以上×長さ6以上 ・間隔 3000以下(水平方向) 1000以下(垂直方向) <p>(2)ブチル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 厚さ0.5以下、幅50以下 ・取付間隔 500以下(水平方向または垂直方向) <p>(3)アクリル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 厚さ0.5以下、幅50以下 ・取付間隔 500以下(水平方向または垂直方向) <p>[7]防水紙留付け用</p> <p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 幅10以上×長さ6以上 ・間隔 3000以下(水平方向) 1000以下(垂直方向) <p>(2)ブチル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 厚さ1.0以下、幅50以下 ・取付間隔 500以下(水平方向または垂直方向) <p>(3)アクリル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 厚さ1.0以下、幅50以下 ・取付間隔 500以下(水平方向または垂直方向)

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[8]外張断熱材仮留め用</p> <p>(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 <p>(3)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 <p>(4)ブチル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 厚さ1.0以下、幅50以下、長さ200以下 ・取付位置 外張断熱材の四隅および中央またはいずれかの位置 <p>(5)アクリル系粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法 厚さ1.0以下、幅50以下、長さ200以下 ・取付位置 外張断熱材の四隅および中央またはいずれかの位置 <p>(6)接着材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～20)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)エポキシ系樹脂 2)酢酸ビニル系樹脂 3)ゴム系 4)アクリル系樹脂 5)アクリルウレタン系樹脂 6)ポリウレタン系樹脂 7)シリコーン系樹脂 8)变成シリコーン系樹脂 9)ポリビニルアセタール系 10)塩化ビニル樹脂系 11)ポリアミド系 12)セルロース系 13)オレフィン系 14)ユリア樹脂系 15)メラミン樹脂系 16)フェノール樹脂系 17)レゾルシノール樹脂系 18)ポリエステル系 19)ポリサルファイド系 20)上記1)～19)の組合せ ・有機質量 58 ± 5.8g/m²以下

(寸法単位 : mm)

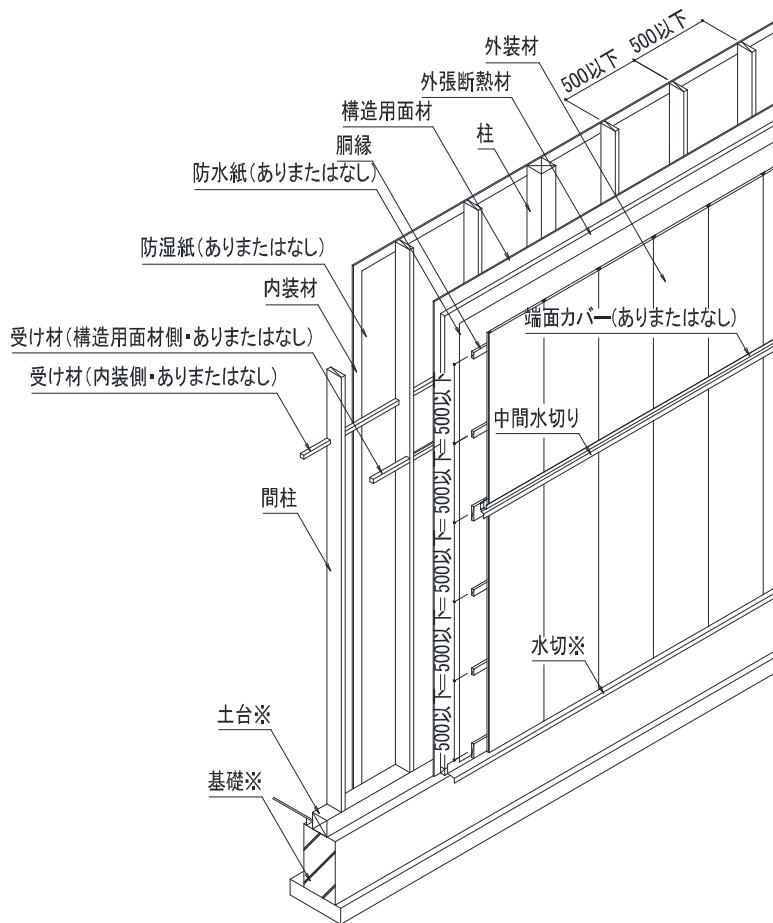
項目	仕様
⑦内装材目地処理材	(1) または(1)と(2)の組合せのいずれか一仕様とする (1)セッコウ系パテ • 規格 JIS A 6914 • 塗布量 95g/m以上 (2)ジョイントテープ • 材質 1)~4)のうち、いずれか一仕様とする 1)紙 2)ガラス繊維 3)ポリプロピレン系 4)ステンレス帯板とガラス繊維の組合せ
⑧気密テープ	(1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)ブチル系粘着テープ • 寸法 厚さ0.75以下、幅100以下 • 取付位置 外張断熱材目地位置 (3)アクリル系粘着テープ • 寸法 厚さ0.75以下、幅100以下 • 取付位置 外張断熱材目地位置

(寸法単位：mm)

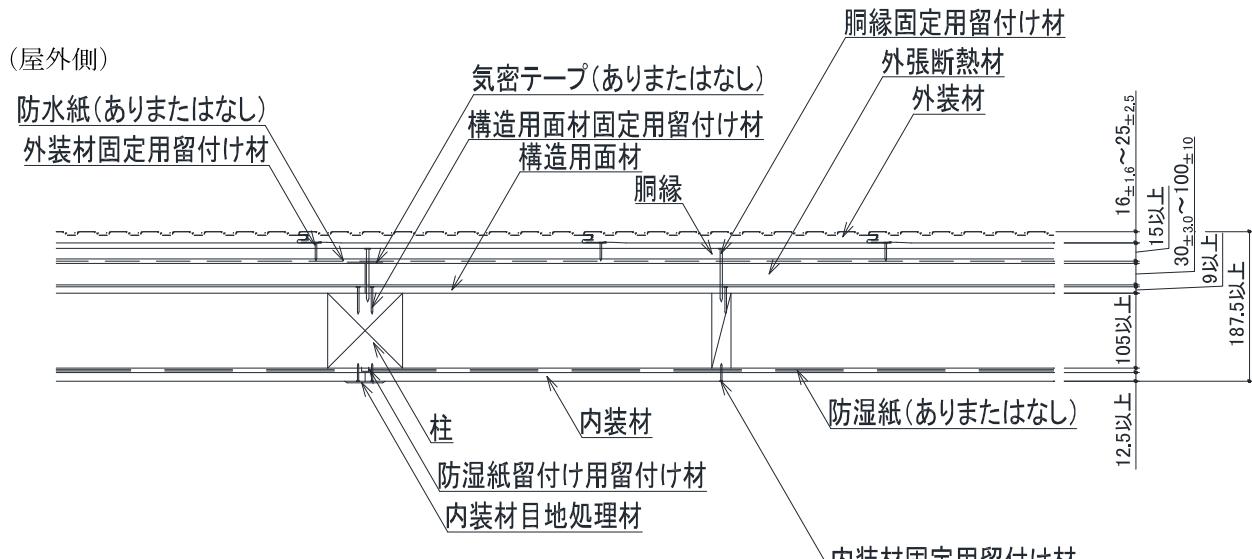
項目	仕様
⑨外装材補強固定用 留付け材防水材	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)水密材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ポリプロピレン系 2)合成ゴム系 3)塩化ビニル系 4)ポリウレタン系 5)アクリルウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)シリコン系 8)ポリエチレン系 9)オレフィン系 10)1)～9)の組合せ <p>(3)シーリング材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～12)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)変成シリコーン系 2)シリコーン系 3)アクリル系 4)アクリルウレタン系 5)ポリウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成ポリサルファイド系 8)エポキシ系 9)ブチルゴム系 10)スチレンブタジエンゴム系 11)油性コーティング材 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5751 12)シリコーン系マスチック ・(2)と(3)の使用量 15g/m²以下(⑤外装材[2]表裏面合計有機質量との合計有機質量77/m²以下とする)
⑩補強金物	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 ⑤外装材[1]-1と同じ ・厚さ 0.27以上 ・間隔 外装材の幅による（水平方向） ・形状 下図参照（代表例）

4. 構造説明図

斜視図



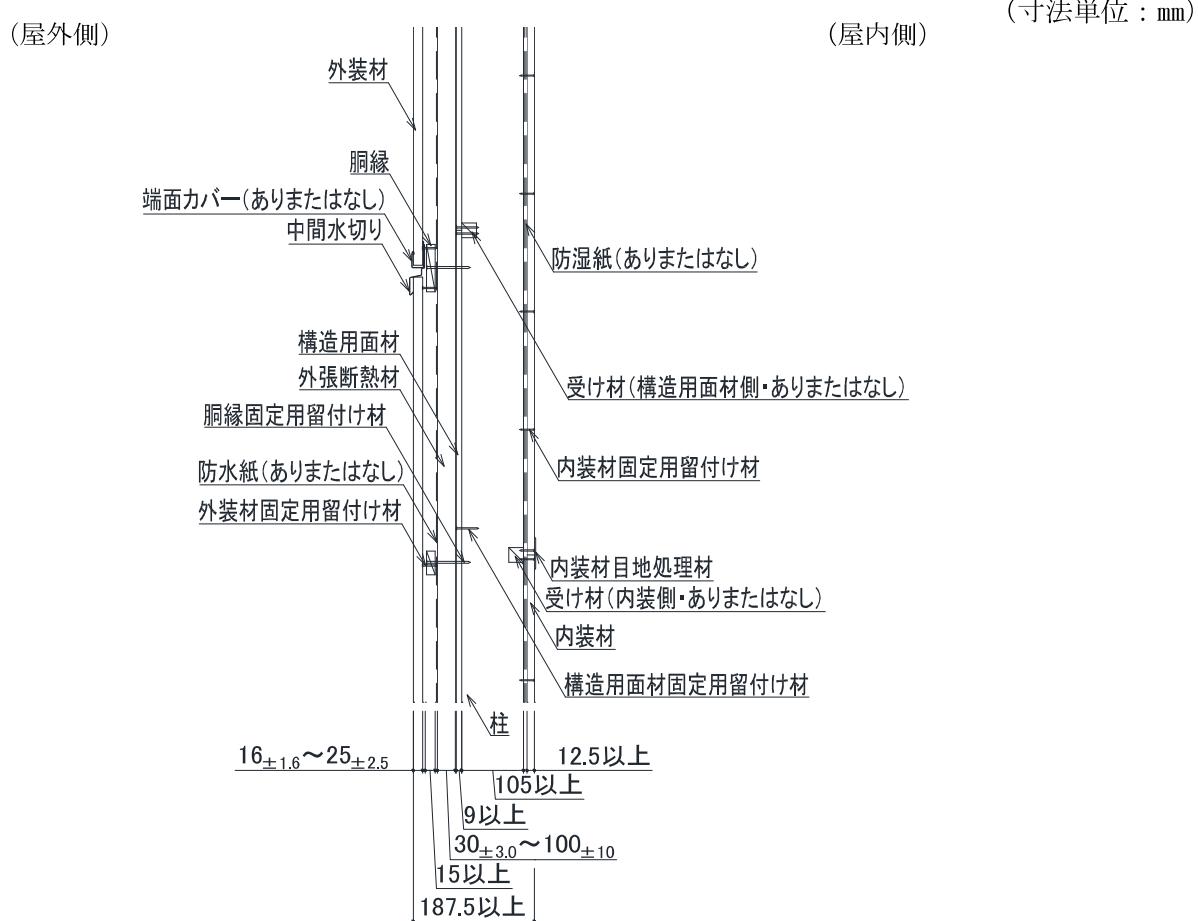
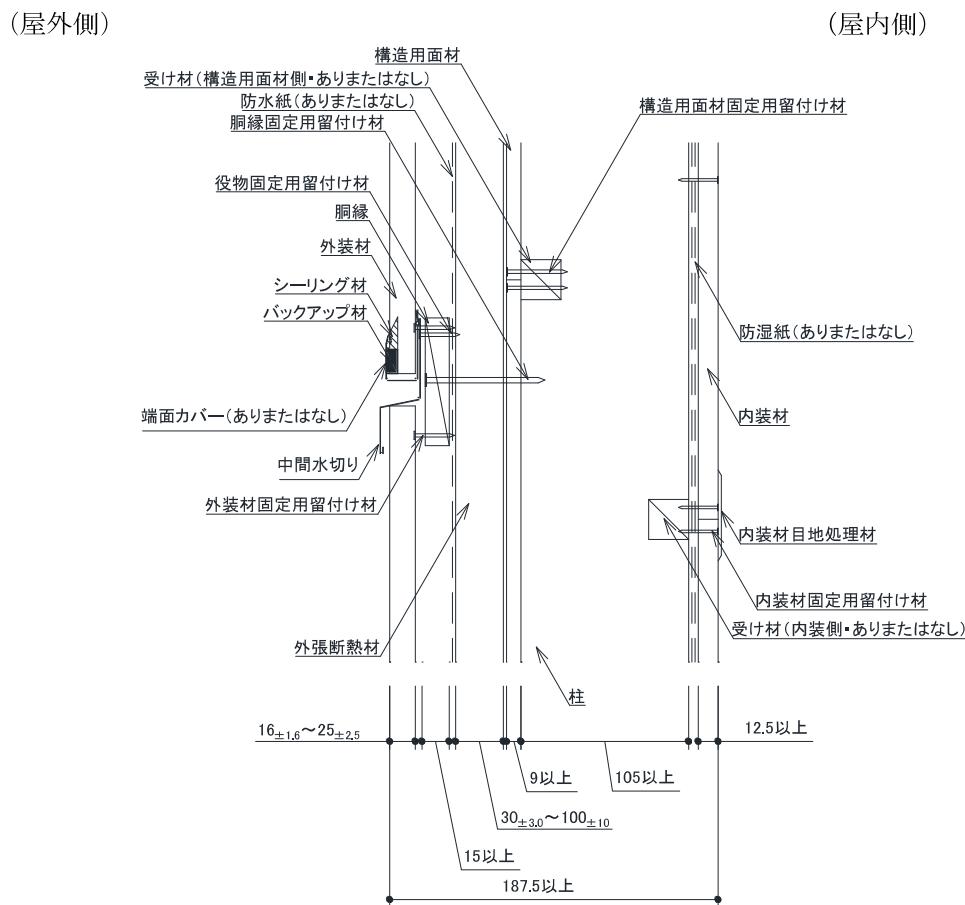
水平断面図



(屋内側)

注)寸法および材料構成は2および3のとおり

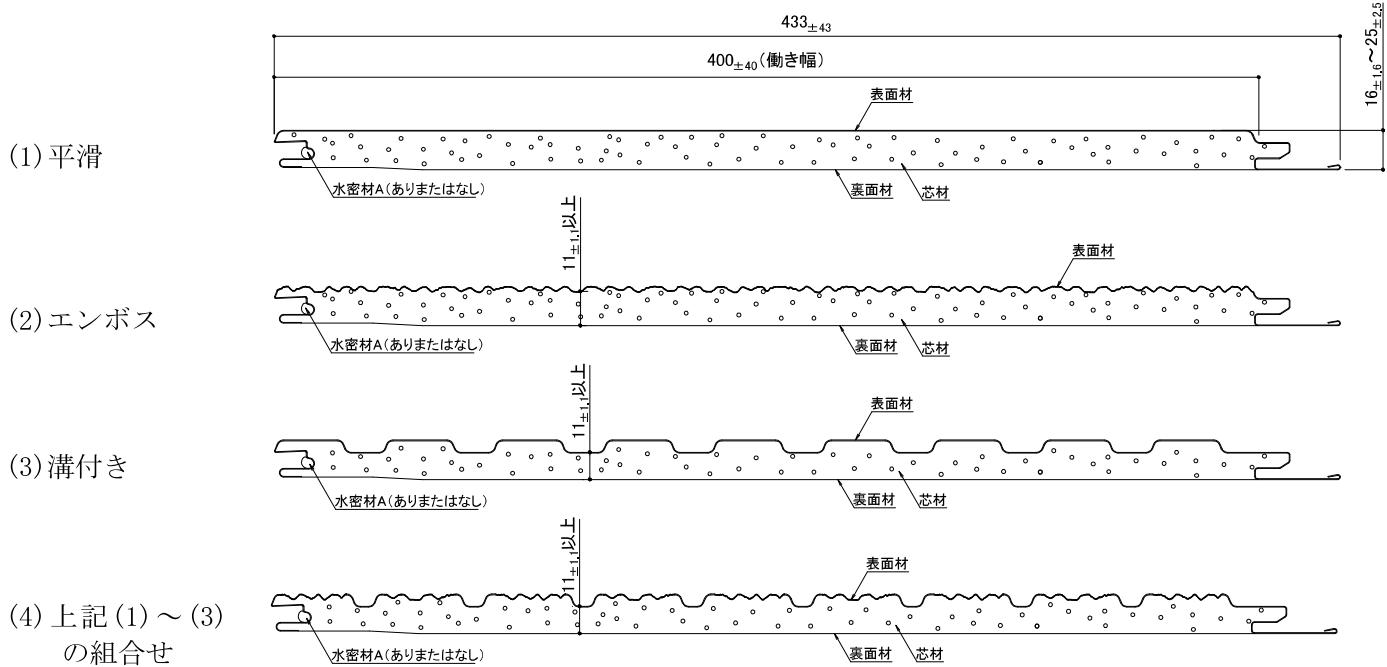
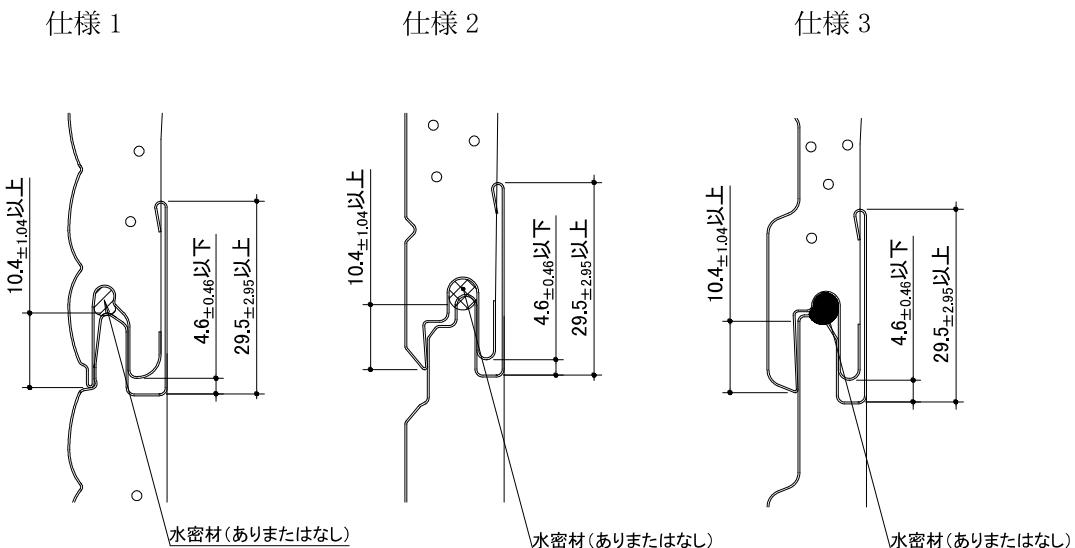
※：本評価内容に含まない

鉛直断面図目地部図(横目地部詳細図)

注)寸法および材料構成は2および3のとおり

外装材形状(断面)の代表例

(寸法単位 : mm)

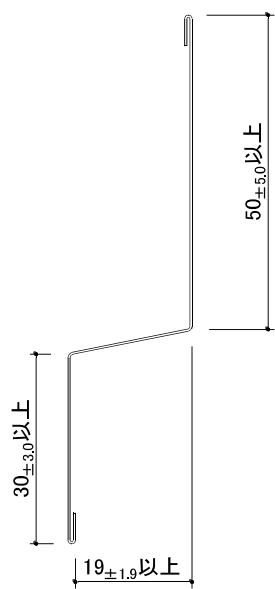
外装材形状(接合部)の代表例

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

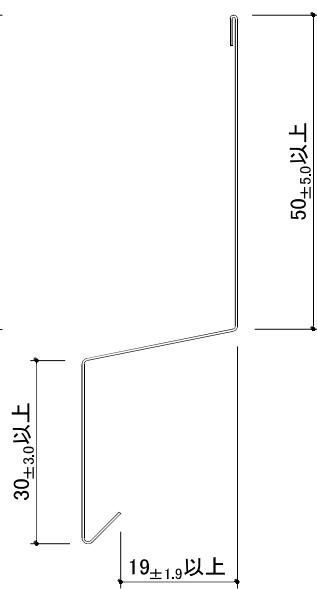
役物(中間水切り)の代表例

(寸法単位 : mm)

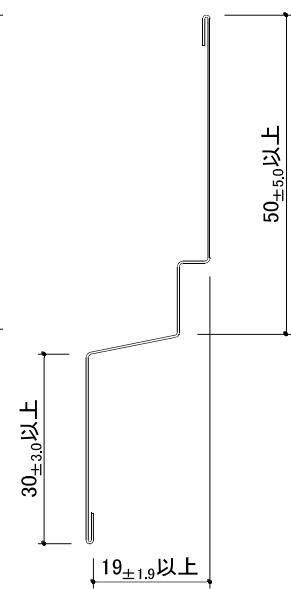
仕様 A



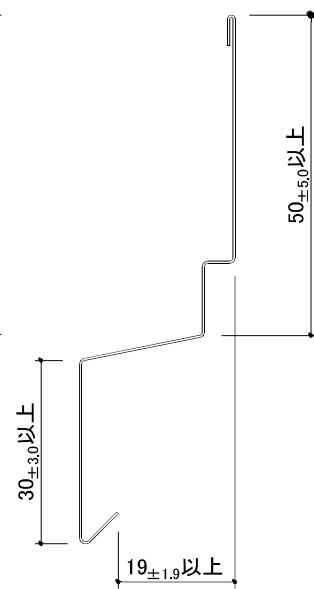
仕様 B



仕様 C

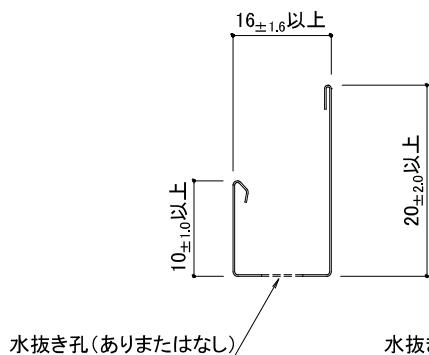


仕様 D

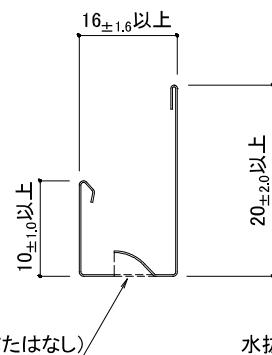


役物(端面カバー)の代表例

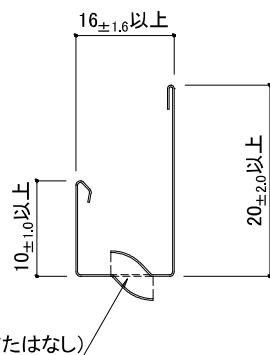
仕様 a



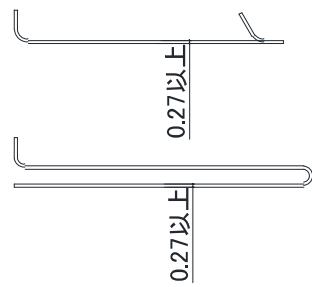
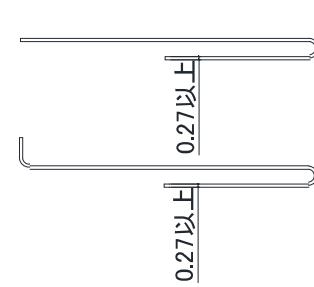
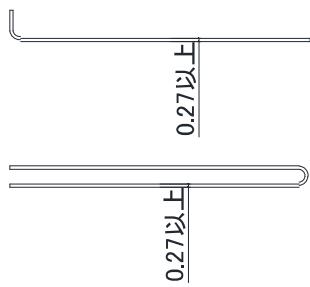
仕様 b



仕様 c



補強金物の代表例



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

5. 施工方法等

〈施工図〉

4. 構造説明図と同じ

〈施工手順〉

(1) 下地

荷重支持部材、間柱は反り、曲り等ないものを使用し、荷重支持部材、間柱間隔を500mm以下で施工する。

構造用面材を荷重支持部材、間柱、当て木に500mm以下の間隔でくぎまたはねじで不陸のないように施工する。

(2) 外張断熱材の取り付け

構造用面材の上に外張断熱材を取り付ける。必要に応じてくぎ、ステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いてもよい。

(3) 水切、スターター(端面カバー)の取付け(評価対象外)

土台に水切、端面カバーを水準器を用いて水平に取付ける。

(4) 防水紙の取付け

防水紙を取付ける場合は、ステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いて留付ける。

(5) 脊縁の取付け

荷重支持部材または間柱に対して、横方向に配置し、500mm以下の間隔で不陸のないように平滑に荷重支持部材、間柱にくぎまたはねじで留付ける。

(6) 外装材の取付け

外装材の側面に水平方向は外装材の働き幅間隔以下、垂直500mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

2枚目以降は外装材の凹部を外装材の凸部に差込み、施工していく。

(7) 役物(中間水切り、端面カバー)の取付け

・役物(中間水切り)を使用する場合

横目地部に中間水切りを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

・役物(端面カバー)を使用する場合

横目地部に端面カバーを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

(8) 防湿紙の取付け

防湿紙を取付ける場合は、ステープル、ブチル系粘着テープまたはアクリル系粘着テープを用いて留付ける。

(9) 内装材の取付け

内装材はくぎまたはねじを用いて荷重支持部材、間柱に留付ける。

横目地部にはせっこう系パテを塗布する。必要に応じて、ジョイントテープを用いる。

縦目地部には必要に応じせっこうパテ、ジョイントテープを用いる。